

# 博物館スクールプログラムについて

## 1. プログラムについて

このプログラムでは、小学校6年生で使用する社会・理科の教科書を基に、博物館資料を学習教材として活用し、また、「総合的な学習の時間」で博物館資料を学習素材として活用する際の、学習テーマや指導内容の要点等を示しました。

プログラムの構成は、本年度の教科書の項目等に、博物館スクールのコース・教材・学習場所・指導内容の要点を対応させています。教科や授業にあわせて、関連するコースを選択してください。

なお、いくつかのコースを複合させ、1コース単位として実施することもできます。その場合は、申請書のコース欄に複合させるコース名を併記してください。

## 2. 内容について

このプログラムは、1つの指針として提示するものです。実施にあたっては、学習内容等の詳細について学校と協議・調整の上、博物館スクール学習計画書を作成します。

## 3. 申し込みについて

申し込みはコース単位で受け付け、その学習時間は1時限を基本とし、学習内容によっては時間を延長します。学級毎に実施するほか、複数学級を同時に実施することもできます。

学習時間には学習場所への移動時間を含みませんので、学校において移動時間を勘案してください。

## 4. 学習方法について

学習の進行は、学校（教員）が主導し、博物館（学芸員等）が助言して行うものとします。

助言にあたっては、郷土の自然や文化に関する博物館資料（主に実物資料）に直接に触れ、観察するなどの体験的な学習に努めます。さらに、その体験に基づいて探究心・想像力を喚起させ、学習内容の理解促進を図ります。

テキストは、特に準備しません。必要に応じて博物館が作成します。

# 博物館スクール プログラム

## 小学校 6 年 社会コース

教科書			博物館スクール												
章	節	項	コースと学習テーマ	教材(博物館資料)	学習場所	学習指導内容の要点	助言者								
教育出版	2	大昔の暮らしをさぐるう (p.74-79)	1 国	A	遺跡を探る ー自然に育まれた縄文人の暮らし	学校付近にある遺跡、貝塚、洞窟など (主に縄文時代)	学校付近の遺跡	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遺跡に散らばる土器、石器などの遺物を観察し、縄文時代の痕跡に触れる</li> <li>・遺跡のある地形や自然環境の観察</li> <li>・縄文人の暮らしを想像する 住居の場所、料理の場所、水くみの場所、狩りの場所、隣の村との交流、食料採集の方法、その後の人々の暮らしの変化など</li> <li>・そこに、遺跡が立地する利点について</li> <li>・なぜ、大船渡に遺跡が多いのか</li> </ul>	学芸員 専門研究員						
										B	縄文時代の貝塚から分かること	貝塚からの出土品 貝殻、魚骨など ツリバリやモリなどの復元資料	博物館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貝塚からの出土品に触り、質感を確かめる</li> <li>・貝塚の貝層断面について 蛸ノ浦貝塚の貝層断面</li> <li>・縄文人の食料 貝殻、獣骨、魚骨などから、食生活を想像する</li> <li>・釣針やモリなど骨角器の使用方法や製作方法について</li> </ul>	学芸員 専門研究員
										C	縄文人の使った様々な道具 ーその用途	遺跡からの出土品 縄文土器、石器、骨角器など	博物館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・縄文時代の道具に触り、質感を確かめる</li> <li>・様々な道具の用途を考える 狩りの道具、魚とりの道具、料理の道具、工作する道具、装飾品、祈りの道具など</li> <li>・縄文土器の製作方法について</li> </ul>	学芸員 専門研究員

小学校 6 年 理科コース

教科書			博物館スクール				
章	節	項	コースと学習テーマ	教材(博物館資料)	学習場所	学習指導内容の要点	助言者
東京書籍 新しい理科 6	6 大地のつくりと変化 ― 1 大地のつくり	1 大地のつくり がけがしま模様に見えるのは、どうしてだろうか (p.104)	D 基石海岸のしま模様を観察しよう	砂岩と泥岩の地層	基石海岸	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基石海岸を歩いて、岩場などの地形を観察する</li> <li>・ 砂岩と泥岩を観察して、そのできかたを考える</li> <li>・ 傾斜した地層及び地層面を観察し、しま模様に見えるわけを考える</li> </ul>	学芸員 専門研究員
		2 地層のでき方 地層は、どのようにしてできるのだろうか。 (p.109)	E 地層をつくる岩石と地層からみつかると化石	地層レプリカ 岩石資料 (礫岩・砂岩・泥岩などの堆積岩) 化石資料 (サンゴ・三葉虫など海棲生物化石、シダ植物・裸子植物など陸棲生物化石)	博物館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地層のレプリカを観察し、砂や泥が海底にたまって地層となる過程を知る</li> <li>・ 市内から見つかる堆積岩を観察し、触れて重さや質感を確かめる</li> <li>・ 市内から見つかる化石を観察し、触れてその形や質感を確かめる</li> <li>・ 生き物が地層に埋もれ、化石となる過程を知る</li> </ul>	学芸員 専門研究員
	3 地層ができるしくみ 流れる水のはたらきによって、どのようにして、地層ができるのだろうか。 (p.114)	F 地震と津波火山	津波被害写真 浸水域図 地震計など	博物館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 津波襲来とその被害状況の写真を見る</li> <li>・ 津波が起きる原因について(主に地震の関係)</li> <li>・ 市内の浸水域図から被害の傾向を探る</li> <li>・ 地震を観測する地震計を知る</li> <li>・ 津波に備える方法について考える</li> <li>・ 私たちのくらしと災害</li> </ul>	学芸員 専門研究員	
7 大地のつくりと変化 ― 2 変わり続ける大地	1 地震や火山の噴火と大地の変化 地震や火山の噴火によって、大地のようすは、どのように変化するのだろうか。 (p.121)						
	2 私たちのくらしと災害						

小学校 6 年 総合的な学習の時間コース

課 程	博 物 館 ス ク ー ル				
	コースと学習テーマ	素材(博物館資料)	学習場所	学習指導内容の要点	助言者
課題把握の場面 または 課題追求の場面	G 博物館で調べてみよう または 野外で調べてみよう	考古資料 遺跡(貝塚) 自然遺物(獣骨等) 土器 石器 骨角器	展示室 収蔵庫 学芸員室 または 野外適地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遺跡や土器、石器、骨角器等の資料について、観察する</li> <li>・縄文時代の気仙地方に関して、出土した資料をもとに、縄文人の生活等について学習する助言をする</li> <li>・特に、国内での位置付け等、郷土の考古学的な事象を広い視野でとらえることができるように留意する</li> </ul>	学芸員 専門研究員
		歴史資料 遺跡(城館跡) 古碑 古文書 古地図 写真 (津波被害写真等)	展示室 収蔵庫 学芸員室 または 野外適地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遺跡や古文書、古碑等の資料について、熟覧する</li> <li>・古代～現代の気仙地方に関して、現存する資料をもとに、当時の歴史等について学習する助言をする</li> <li>・特に、国内での位置付け等、郷土の歴史学的な事象を広い視野でとらえることができるように留意する</li> </ul>	学芸員 専門研究員
		民俗資料 衣食住 年中行事 民俗芸能 口頭伝承 (昔話、伝説等)	展示室 収蔵庫 学芸員室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣食住、年中行事、民俗芸能等に関する資料について、熟覧する</li> <li>・近世～現代の気仙地方に関して、現存する資料をもとに、当時の民俗等について学習する助言をする</li> <li>・特に、国内での位置付け等、郷土の民俗学的な事象を広い視野でとらえることができるように留意する</li> </ul>	学芸員 専門研究員
		地質資料 動物化石 植物化石 堆積岩 火成岩 変成岩 鉱物	展示室 収蔵庫 学芸員室 または 野外適地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化石、岩石、鉱物等の資料について観察し、種類を同定する</li> <li>・気仙地方の中・古生層に関して、観察した資料をもとに、当時の古生態や古環境について学習する助言をする</li> <li>・特に、国内での位置付け等、郷土の地質学的な事象を広い視野でとらえることができるように留意する</li> </ul>	学芸員 専門研究員